

## 厚田区における各事業(新規含む)の現状と課題について

## 【取り組みの趣旨】

厚田区は過疎地域として位置づけられ、これまで過疎地として有利な過疎債に基づく過疎債(現過疎法は時限立法により21年度まで)を活用した中で事業を実施してきました。

今回22年度以降過疎法の延長(案)(6年27年度まで)が国から示されたことで、今後6年間この制度を有効に活用し、引き続き地域課題の解決に向けた事業の取り組みを図ることができることとなります。

そこで、事業の抽出にあたり、まずは各課における現状の問題点・課題を洗い出す。その中で過疎債が活用できる事業を抽出する手法で取り組むことが、より地域の実情に見合う計画となる(事業ありきの計画過疎債活用のための計画ではない)ものと判断し、本庁と連携を図り作業を行います。

## 【提出までのイメージフロー】

